

「佐久市都市計画マスタープラン」の一部改定に係る住民説明会での意見

開催日	会場	意見の内容(要旨)	当日の回答内容
1 4/14	臼田支所	樋橋地区については、非常にニーズの高い土地だと思うので、買い物にきたい方、住みたい方、色々な方がいると思う。今回、用途地域を指定することなので、商業地区、良好な住環境を築ける住宅街など、メリハリをつけた用途地域の指定をしていただきたいと思う。	ご意見として承ります。
2 4/14	臼田支所	今後樋橋地区に何ができるか分からない状態。 臼樋橋が開発されて臼田も良くなるとすれば、公共交通の面だと思われる。現状のバス路線には問題がある。「歩いて暮らせるまち」とあるが、今のままでは難しい。一極集中ではなく、いくつかのコンパクトシティをバス路線等で連携させていくことが必要なのではないか。そういった考えも視野に入っているのか教えて欲しい。	樋橋地区の中身についてはまだしっかりしたものは決まっておられません。しかし、昨年7月に地元の土地区画整理準備組合ヘイオンモール株式会社から出店の申し出があり、準備組合において、この申し出を受けるという決定したため、まだ決定事項ではありませんが、申し出に基づき商業エリアとして整備するという事で組合の方では動いております。 それぞれの地域ごとの連携については交通ターミナル施設の形成というものを考えております。佐久平駅周辺地区は佐久地域の核となるような部分なので、こういった開発で外から人の流れを呼び込み、バスのターミナル等によって、ほかの地域へ行き来ができるようなことを考えております。
3 4/14	臼田支所	樋橋地区の南に佐久大学がある。医療都市構想みたいな話がある中で、この先の佐久大学へ向かう道が暗く、街灯もつかないという問題がある。商業地域があるから人が来るのでは無く、公共施設や大学施設がある中で、住みやすいまちということで、若い人たちが入ってくるの方が佐久市の将来としては良いと思う。この辺はどこまで考えているのか。	開発エリアが佐久大学まで続くという計画にはなっておりません。しかしながら樋橋地区の中でも、新たな雇用を創生する企業誘致を目指す中で、研究機関等関連施設を誘致するくだりもあります。この中には健康関連の企業誘致も視野に入れて考えており、エリアの全てが商業地域という訳では無く、住居系に特化した地域も考えております。 佐久大学から続く道の街灯については、随時整備していく形になりますが、他部局と連携を取って進めていきたいと考えております。 なお、樋橋地区につきましては組合施行の区画整理であり、地権者の方が事業を行い市はそれを支援していく形になるので、技術的支援をしていく中でまちづくりの方向性を示していきたいと考えております。
4 4/14	臼田支所	市役所の庁舎は、老朽化をしているうえに、トイレや階段がバリアフリー化しておらず、使い勝手が悪い。20年30年先に対応でき、ITにも対応した庁舎を検討してもらいたい。 個人的には、庁舎の位置として、佐久南インターや合同庁舎の周辺が、交通の便がよく立地に適していると思う。	ご意見として承ります。
5 4/14	臼田支所	いずれ臼田インターができれば臼田インター周辺の都市計画変更もあると思っている。ぜひ軽井沢、御代田でなく佐久市に住みたいと思うまちづくり、そのための都市計画としてほしい。臼田インター開通にあわせ都市計画の変更はあり得るか。	平成28、29年に都市計画マスタープランの全面改定を控えています。この計画の上位計画である佐久市総合計画や国土利用計画(佐久市計画)を策定していく中で検討していくこととなり、その過程においては、市民の皆様にも意見を伺ってまいりたいと考えています。
6 4/14	臼田支所	東御市や小諸市で住民組織が総合計画の提案、検討を行っているとの新聞記事が載っていた。 樋橋の今後の開発にあたり地区住民と話し合っていく場はあるかと問うたとき、何もないという回答であったと思う。 佐久市のこれからの計画をつくっていくとき、例えば、高校生が意見を言うなど、住民意識の構築が必要と思う。今後、市が計画策定を行う際の住民の立ち位置について、どう考えるか。	声を聴く姿勢は大変大事だと思っているので、参考とさせていただきます。